

岩手県山岳協会70周年を迎えて

岩手県山岳協会
会長 高橋 時夫



この度の、任期満了に伴う岩手県山岳協会役員改選にあたり、皆様のご推挙により引続き会長の重責を担うこととなりました。改めて加盟団体の皆様、そして役員、関係市町村長の皆様の日頃のご支援、ご協力に対しまして心から感謝を申し上げます。

岩手県山岳協会は、本年創立70周年を迎えることができました。昭和16年、国際情勢がにわかには緊迫したなか、県内の23の山岳団体が結集し創設されました。爾来70年の歴史を刻むなか、厳冬の岩手山、洞ヶ沢、鬼ガ城本峰登攀ルートの開拓、焼石岳、裏岩手縦走路の開鑿、五葉山や早池峰山に響く山靴の音。

競技登山でも国体、インターハイでの活躍、オーストリア親善登山隊、デビスタン遠征、マッキンリー峰等その足跡は山にロマンを求め、友情の絆を大切にしてきたなものにも代えがたい歴史の重みであり、しっかりと刻まれています。いよいよ、今年は、70周年事業として温めてきた「みんなで選ぶ岩手の100山」、「ヨーロッパ・モンブラン山群一周トレッキング」「九州阿蘇山・久重山・祖母山登山」「記念誌発刊」「11月5日挙行予定の記念式典」や、今年から具体化される二順目岩手国体山岳競技施設の改築整備への着手、国体強化へ向けた体制整備等組織目標として、取組んでまいりたいと考えています。さて、登山界は、大きな変革の時代に入っています。しかし、希望を胸に秘め、私どもが創立以来標榜してきた、スポーツアルピニズムのもとに真摯な気持ちで頂きへの挑戦、遭難事故防止、自然愛護の精神の涵養と、新たなジャンルであるスポーツクライミングの普及等登山活動を通じて、県民と感動を分かちあい、目的と志を同じくする皆様と一緒に、力を合わせて、地味でも、辛くても流れる汗に感謝し、これからの未踏のルートを着実に伸ばしていく決意であります。皆様の、変わらぬご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。

平成23年度定期総会開催

平成23年度岩手県山岳協会定期総会が、去る2月5日（土）午後1時30分から代議員ら72名の出席のもと、盛岡市の労働福祉会館で開催されました。

冒頭、高橋会長は挨拶で、「全国有数の長い歴史と伝統を誇る岩手県山岳協会の発展のため、アマチュアスポーツ団体としての使命と、岩手県を代表する山岳団体として山岳協会の目的である安全登山の啓蒙、事故防止のための体制作り、指導員の育成に力を注ぎ、国体、インターハイ等で上位入賞を勝ち取り、県民に勇氣と希望を与え、加盟団体や関係者にとって誇りの持てる協会として発展するため、着実に歩みを進めていきたい。」と

所信を述べるとともに、平成23年度事業への取組み方針について力強く述べられました。その後、来賓を代表して壇上に立った顧問の柳村典秀村長から「山岳協会70周年の実績に対して敬意を表するとともに、今後も山岳遭難事故防止のための安全登山の啓蒙や国体での活躍等更なる活躍を熱望します。岩手のシンボルである岩手山山開きに際し、皆でそれぞれの旗を掲げ、勇躍登頂しよう」と、頼もしい提案とエールを頂きました。」また、国体山岳競技開催地として特段のご配慮を頂いている盛岡市教育委員会佐藤教育部長も多忙の中、出席を頂きお祝いのご言葉を頂きました。

総会は、議長に久世一彦氏（久慈山協）を選任し、議事に入った。承認第1号平成22年度事業報告及び平成22年度決算は、原案通り承認され

た。引き続き平成23年度事業計画及び平成23年度収支予算案（一般会計5,380,000円）についても、原案通り決定された。



質疑応答では、遭難対策への協会としての取り組みあり方、緊急時の連絡体制への要望がだされ、会長から、事務局

局への一元的情報の集約、遭難事故防止のための昨年度改定した指導マニュアルの活用等の説明があった。また、太野隆夫杯ボルダリング大会に関しても力強い支援の意見を頂くなど、緊張した中で慎重審議を頂いた。

今年は、70周年記念事業への取り組み、国体準備へ向けて本格的な取り組みのため国体推進部（仮称）の新たな設置を予定しています。これらの事業は、加盟団体をはじめ関係者の支援と協力なくしては出来ません。皆さんの協力をお願いします。

任期満了の役員改選では、次の方々が選任されました。（任期 2年）

会長高橋時夫（翌檜）、伊藤張二（高体連）、鈴木主計（早池峰）、藤原利雄（ツエルト）の各副会長、理事長武田勝栄（巖鷲）、杉山健太郎（悠々）、佐藤均（盛岡山岳会）各監事がいずれも再選。評議員は、浅沼昭男（大迫）、内山達雄（日本山岳会）、小笠原正雄（石鳥谷）、小野寺光義（ツエルト）、大坊孝男（玉山）、波岡浩（巖鷲）、村上伸男（翌檜）各氏が再選。佐藤時雄（水沢）、滝田章（悠々）、川村芳征（RCC）、菊地健一（高体連）各氏が退任し、新たに久世一彦（久慈）、岩戸賢一郎（水沢）、千葉洋一（RCC）、広瀬高夫（悠々）の各氏が選任されました。

平成23年度の主な事業

- ・協会創立70周年記念事業の実施
- ・国体選手強化・安全登山の啓蒙、加盟団体交流
- ・太野隆夫杯ボルダリング選手権大会
- ・岩手山ボッカ大将 ・二順目岩手国体の準備
- ・国体強化とスポーツクライミングの普及
- ・アルパイン指導者養成
- ・岩手山山小屋管理と安全登山の啓蒙
- ・少年少女登山教室等の一般県民への啓蒙などです。

名誉会員・顧問懇談会開催

名誉会員・顧問懇談会が1月8日（土）盛岡市で開催されました。

当日は、年始の忙しい中、矢羽々昭夫、出堀宏明両名誉会員、矢羽々文一郎、松尾 寿、村上力、渡辺正蔵、國本旗男、小泉昌弘の各氏顧問の出席と、協会から、高橋会長、鈴木副会長、武田理事長、小山事務局長、遠藤事業部長、佐藤指導部長、植田登山普及部長の15名が出席しました。

高橋会長から、「皆様のおかげで幾多の試練を乗り越え協会も、70周年の大きな節目の年を迎えることができました。昨年は、東北総体で5年ぶりの総合優勝、ゆめ半島千葉国体ボルダリング競技で成年女子が準優勝と大健闘しました。引き続き今年も、山口国体へ向けて選手強化、安全登山の啓蒙、記念事業、二順目岩手国体準備等に取組んでいきます。」と挨拶。出席者から次のような、活発な叱咤激励の言葉を頂きました。

- ・国体選手強化に向けての強化体制の組織化が必要ではないか。総合力で選手強化を推進していくべきだ。
 - ・クライミング愛好家が増えていることは喜ばしいが、組織化して協会加盟を指導していくべきではないか。
 - ・国体で育てた選手監督が、次代の協会運営の柱に育って欲しい。
 - ・70周年表彰では、部外者も含めて協会の発展に尽くした方々に光をあてた表彰に配慮されたい。
 - ・次回からは、テーマを絞って意見を聞いてはどうか。
 - ・記念誌編集にあたって70年の通史を掲載して欲しい。
 - ・大会開催の際、選手に対して挨拶等競技マナーの指導を徹底して欲しい。
- 等の貴重な意見が出されました。

これらの意見等は、早速理事会に報告され、真摯に受け止め努力していくことにしています。

県山協参与会総会開催される

平成23年度岩手県山岳協会参与会総会が、1月31日（土）午後2時から盛岡市内丸の北ホテルで開催されました。

当日は、斉藤善也会長をはじめ会員 29 名が出席、協会からは、高橋会長が出席して日頃の協会への支援に対して感謝と、協力要請等の祝辞を述べました。開会にあたり斉藤参与会会長は、会員の高齢化や会員の事業参加の減少等課題がありますが、会員の勧誘等組織の活性化に取り組んでいきたいと挨拶しました。基本方針として、①山の絆、②会員の増強、③安全登山の実践をあげ、春の焼石岳（5月15日（日））、夏の須川岳（7月22日（金））～7月24日（日）、秋の太平山（10月15日（土））等が企画されました。

役員改選では、長年、会の運営に尽力されてきた渡辺正蔵幹事長、國本旗男事務局長、川村芳征幹事が退任し、会長に斉藤善也氏（水沢）、幹事長に音石康一氏（北上）、事務局長に小島 侠氏、会報担当に田村 博氏（悠々）、慶弔担当に鈴木朋克氏（翌檜）、事業担当に中道政春氏（翌檜）、会計監事に櫻糰毅（裏岩手）、熊谷浩志氏（盛岡山岳会）が選任されました。

平成 23 年度第 1 回評議委員会開催

協会の諮問機関である平成 23 年度岩手県山岳協会第 1 回評議員会が、1月26日（水）午後7時から盛岡市の岩手県体育協会会館会議室で開催されました。

会議には、夜間、遠路にもかかわらず、滝田章、浅沼昭男、小野寺光義、川村芳征、波岡浩、大坊孝男、村上伸男の各氏評議員と協会から高橋会長、鈴木副会長、武田理事長、佐藤副理事長、小山事務局長、佐藤指導部長、遠藤事業部長、植田登山普及部長、畠山選手強化部長、中村理事が出席。

・平成 22 年度事業報告、・平成 23 年度事業計画、・70 周年記念事業、・平成 22 年度岩手県体育協会体育功労表彰候補者の推薦が諮問されました。

諮問事項は、いずれも原案のとおり答申頂き、総会に付議することとなりました。なお、次のような貴重な助言、意見等が出されました。

- ①8月の少年少女登山教室は、山小屋が混雑する土日避けてはどうか。……今年から金、土開催
- ②70周年祝賀会費は、記念誌代も含むのか。…含みます。

- ③記念講演会はしないのか。……講師の関係もあり検討中
- ④記念事業実施にあたって、協賛金を集める考えは……多くの方からご協力頂きたい。
- ⑤みんなで選ぶ岩手の 100 山は、選定後しおりにつくるのか。……そこまでは予定していない。
- ⑥式典には、日本山岳協会会長も招待して欲しい。……是非出席して頂きたい。
- ⑦記念グッズとして岩手県山岳協会の徽章を作成頒布して欲しい。……検討したい。
- ⑧長野県で山岳事故防止のため、県独自で山岳ガイド認定制度を創設する動きがある。岩手も必要ではないか。……動向を注視したい。
- ⑨早池峰山の携帯トイレについては、検証が続けられる。6月と8月実証期間が設定される。
- ⑩トレランについては、変更も含めて会場の検討を進めている段階です。等

日本山岳協会

創立 50 周年記念式典挙行される。

創立 50 周年を迎えた社団法人日本山岳協会の記念式典は、平成 23 年 1 月 15 日（土）皇太子殿下のご臨席のもと東京プリンスホテルで開催された。会場には、駐日ネパール大使をはじめ、アジア各国の山岳連盟代表、全国の山岳団体の代表等 700 名近い出席者のもとに盛大に開催された。

本県からは、高橋会長をはじめ表彰を受章された、浅沼昭男（大迫）、川村芳征（盛岡 R C C）、工藤洋司（岩大山の会）、佐藤時男（大迫）さんの奥様、高橋和夫（盛岡山岳会）、滝田章（悠々）、出堀宏明（山想会）各氏の 8 名が出席した。田中会長は、50 年の歴史は、これまで協会の運営に携われた多くの皆様の献身的な努力の結集であり、今後も、各岳連（協会）の皆さんと一致協力して協会の目的のため歩んで行きましょと挨拶をされた。関係者への表彰、第 1 回日本山岳グランプリの発表、協力企業へ感謝状が送られた。

本県関係の日本山岳協会 50 周年記念表彰者は、次の方々です。おめでとうございます。

矢羽々昭夫、工藤洋司、國本旗男、小泉昌弘、角掛喜美夫、浅沼昭男、内山達雄、川村芳征、佐藤時男（大迫）、滝田 章、波岡 浩、矢羽々文一郎、鈴木朋克、村上 力、出堀宏明、斉藤善也、高橋和夫、四戸寛次郎、熊谷浩志、渡辺正蔵、櫻

糀 毅、瀬川幸三、佐藤時男（水沢）、近藤有慶、
松尾 寿（順不同）

創立 70 周年記念事業の概要固まる

平成 22 年度 5 回の実行委員会を開催し創立 70 周年記念事業の概要が固まった。事業の内容は以下のとおりです。

1 式典・祝賀会

- ・日時 平成 23 年 11 月 5 日（土）14:00～
- ・会場 サンセール盛岡
- ・会費 10,000 円（記念誌含む）

2 記念山行

- ・国内登山
山域 阿蘇山、九重山、祖母山
期日 平成 23 年 6 月 2 日～6 日
- ・海外トレッキング
山域 モンブラン山域一周
期日 平成 23 年 7 月 21 日～31 日
費用 約 40 万円（成田発着）

3 みんなで選ぶ岩手の 100 山

- ・選考基準
（全市町村を網羅できることに配慮して）
県民に親しまれている山。特徴のある山。歴史や民族とかかわりのある山。県民の多くが無理なく登れる山。

4 記念誌 平成 23 年 11 月 5 日発刊予定

5 冠大会の実施

- ・3/20 太野隆夫杯ボルダリング選手権大会
- ・6/11 岩手山ボッカ大将
- ・7/2 岩手県クライミング選手権大会
- ・8/5-6 岩手山少年少女登山教室
- ・9/4 2011 トレイルランニング大会
- ・10/23 岩手県ボルダリング大会

6 記念品製作 Tシャツ、岩手山登頂記念手拭



岩手県山岳協会創立 70 周年記念 九州の名峰登山募集

下記のとおり募集しますのでお知らせいたします。

- 1 期 日 平成 23 年 6 月 2 日(木)～6 日(月)
- 2 場 所 阿蘇山、祖母山、九重山
(同封の要項参照)
- 3 参加費 98,000 円
- 4 申込期限 平成 23 年 4 月 25 日（月）
(定員 20 名になり次第締め切り)
- 5 申込先 FAX 019-641-2047 へ
- 6 問い合わせ 登山普及部 山口吉男まで
☎ 090-1933-2445

岩手県山岳協会創立 70 周年記念 ツールド・モンブラン モンブラン山群一周登山募集

下記のとおり募集しますのでお知らせいたします。

- 1 期 日 平成 23 年 7 月 21 日(木)～31 日(日)
- 2 場 所 ツールド・モンブラン
(同封の要項参照)
- 3 参加費 約 400,000 円
- 4 申込期限 平成 23 年 5 月 31 日（火）
(定員になり次第締め切り)
- 5 申込先 郵送又はメールで
佐藤 誠
〒028-0841 盛岡市羽場 14-53-8
E-mail makonami@ruby.plala.or.jp
- 6 問い合わせ 佐藤 誠まで ☎ 019-637-0783

岩手県山岳協会創立 70 周年記念 太野隆夫杯争奪第 4 回岩手県ボルダリング 選手権大会兼山口国体岩手県予選会

下記のとおりボルダリング選手権大会兼国体予選会を開催しますのでお知らせいたします。

- 1 期 日 平成 23 年 3 月 20 日（日）
- 2 場 所 岩手県営運動公園ボルダリング場
- 3 セッター 杉田雅俊（BASE CAMP）
- 4 参加料 高校生以下 2,000 円
一 般 2,500 円
- 5 申込期限 平成 23 年 3 月 15 日（火）
- 6 申込先 郵送、FAX、メールで
吉田英男あて
〒020-0835 盛岡市津志田 26-17-1
盛岡第四高校
TEL 019-636-0742 FAX 019-636-0797

E-mail yosida-hideo@mo4-h.iwate-ed.jp

7 日 程

開会式	8:30	
受付	8:30 まで	ジュニア、ビギナー
	9:30 まで	ミドル
	10:30 まで	エキスパート
競技	9:00	ジュニア決勝
	9:20	ビギナー決勝
	10:30	ミドル予選
	11:30	エキスパート予選
	13:00	ミドル決勝
	14:00	エキスパート決勝

今後の予定

2/26-27	ボルダリングジャパンカップ長崎大会
3/19-21	日山協氷雪技術研修及び主任検定養成講習会
3/20	太野隆夫杯争奪第4回岩手県ボルダリング選手権兼山口国体岩手県予選会

第11回全日本山岳スキー競技大会 県勢上位独占

2月19日、20日に秋田県駒ヶ岳にて開催された、第11回全日本山岳スキー競技大会（秋田県岳連主催）において、岩手県勢が1位から3位まで独占した。総合優勝した高橋伸也選手は大会4連覇である。成績は以下のとおりです。

総合1位・成年の部1位 高橋伸也（翌檜）
総合2位・青年の部1位 渡辺良平（翌檜）
総合3位・熟年の部1位 藤原利雄（ツェルト）

第6回ボルダリング・ジャパンカップ 長崎 茂木大会 藤原佑樹 16位

2月26日、27日に長崎県長崎市・旧長崎南商業高校体育館で開催された、第6回ボルダリング・ジャパンカップ（日本山岳協会主催）において、藤原佑樹君（盛岡南高卒）が準決勝まで進み16位の成績を残した。並み居る強豪選手の中での戦いで立派な成績である。岩手県チームが山口国体に向け弾みがつくと思われる。

経過報告

1/8(土) 名誉会員・顧問懇談会
1/15(土) 第1回常任理事会
1/19(水) 会計監査
1/22(土) スーパーキッズチャレンジ3競技紹介
1/26(水) 第1回評議員会
1/26(水) 国体選手強化小中高指導者連携講演会
1/30(日) 海外登山技術研究会
2/4(金) 県営体育施設使用調整会議
2/5(土) 定期総会
2/24(木) 第2回部長会